

## 1. 化学品及び会社情報

### 製品特定名

化学品の名称 : MotorClean  
製品コード : 20873 - 500 mL

### 推奨用途及び使用制限

推奨用途 : クリーナー

### 会社情報

LIQUI MOLY GmbH  
D-89081 ドイツ Ulm-Lehr  
Jerg-Wieland-Str. 4  
T (+49) 0731-1420-0 - F (+49) 0731-1420-88  
SDS 担当の有資格者の電子メールアドレス: sds@gbk-ingelheim.de

### 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : +49 (0) 6132 / 84463 (GBK GmbH, Ingelheim)

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

物理的危険性	引火性液体	区分 4
健康有害性	眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分 2
	皮膚感作性	区分 1
	吸引性呼吸器有害性	区分 1
環境有害性	水生環境(慢性)	区分 3

絵表示 (GHS-JP)



GHS07



GHS08

注意喚起語 (GHS-JP) : 危険

含有 : 炭化水素、C10-C13、n-アルカン、イソアルカン、環状結合、< 2 %芳香族化合物; 長鎖カルシウムアルキルアリール基スルホン酸

危険有害性情報 (GHS-JP) : 可燃性液体 (H227)  
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ (H304)  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (H317)  
強い眼刺激 (H319)  
長期継続的影響によって水生生物に有害 (H412)

### 注意書き (GHS-JP)

安全対策 : 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。  
(P210)  
ミスト、スプレー、蒸気の吸入を避けること。(P261)  
環境への放出を避けること。(P273)  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

応急措置 : 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。(P314)  
飲み込んだ場合、吐かせないこと。(P331)

保管 : 施錠して保管すること。(P405)

廃棄 : 内容物/容器を地域および国の規則に従ってに廃棄すること。(P501)

### 3. 組成及び成分情報

製品情報 : 混合物

名前	濃度	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
炭化水素、C10-C13、n-アルカン、イソアルカン、環状結合、< 2 %芳香族化合物	70 - 95%				64742-48-9
長鎖カルシウムアルキルアリアル基スルホン酸	1 - 10%	Unspecified			722503-68-6
Amines, polyethylenepoly-, reaction products with succinic anhydride polyisobutenyl derivatives	1 - 5%	C4H403.Unspecified			84605-20-9
エトキシ化されたイソトリデカノール	1 - 5%				69011-36-5
ホスホロジチオ酸、0,0-ビス(2-エチルヘキル、イソブチル、イソプロピル)エステル、亜鉛塩	1 - 5%	Unspecified			85940-28-9

### 4. 応急措置

#### 応急措置

- 応急措置 一般 : 直ちに医師の診察を受ける。  
気分が悪い場合は医師の診察を受ける(可能であればラベルを見せる)。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚を流水/シャワーで洗うこと。  
汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。  
皮膚刺激または発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 予防措置として眼を水ですすぐ。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせてはいけない。  
直ちに医師の診察を受ける。

#### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

- 症状/損傷 皮膚に付着した場合 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
- 症状/損傷 飲み込んだ場合 : 肺水腫のリスク。

#### その他の医学的アドバイスまたは治療

- 医師に対する特別注意事項 : 対症的に治療すること。

### 5. 火災時の措置

- 適した消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤 : 多量のウォータージェット
- 火災危険性 : 引火性液体及び蒸気。

- 火災時の危険有害性分解生成物 : 炭素酸化物(CO、CO2)、  
酸化窒素、  
炭化水素、  
有毒熱分解製品、  
引火性および爆発性の蒸気-空気混合物を形成することがある。
- 消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。  
自給式呼吸器。  
完全防護服。

## 6. 漏出時の措置

### 非緊急対応者

- 応急処置 : 漏出エリアを換気する。  
裸火、火花禁止、禁煙。  
皮膚、眼との接触を避ける。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレアの吸入を避けること。

### 緊急対応者

- 保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。

### 環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。  
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

### 封じ込め及び浄化方法及び機材

- 浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。  
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
- その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。  
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙。  
容器を接地すること/アースをとること。  
火花を発生させない工具を使用すること。  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
引火性蒸気が容器内に蓄積することがある。  
防爆型装置を使用する。  
個人用保護具を着用する。  
皮膚、眼との接触を避ける。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレアの吸入を避けること。
- 衛生対策 : 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
製品取扱い後には必ず手を洗う。

### 保管

- 安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。  
涼しいところに置くこと。

- 容器を密閉しておくこと。  
 施錠して保管すること。
- 技術的対策 : 容器を接地すること／アースをとること。  
 混触禁止製品 : 酸化剤。  
 熱及び発火源 : 高温、直射日光を避ける。  
 包装材に関する特別な規則 : 他の容器に移し替えないこと。

## 8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。
- 手の保護具 : 柔軟クリームを塗る。この推奨は実験室条件下における化学的適合性および EN 374 準拠テストにのみ基づく。製造業者が指定する浸透性と浸透時間を遵守する。手袋素材は破過時間、透過速度、劣化等を考慮して選択する。

タイプ	素材	透過	厚さ (mm)	浸透	規格
適切な保護手袋。	ニトリルゴム (NBR)。	6 (> 480 分)。	0,4		EN 374。

- 眼の保護具 : サイドシールド付き安全メガネ。密着性の高い安全ゴーグル。安全メガネ。
- 皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。
- 呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

機器	フィルタタイプ	条件	規格
フィルター付きマスク。	A2。P2。	空気中の濃度 > 暴露限界の場合。	EN 14387。

- 環境への暴露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

## 9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状态 : 液体  
 色 : 黄色、茶色  
 臭い : 特有の臭気  
 蒸発速度 (酢酸ブチル = 1) : 非該当  
 引火点 : 63 ° C  
 分解温度 : 230 ° C 炭化水素、C10-C13、n-アルカン、イソアルカン、環状結合、< 2 % 芳香族化合物  
 燃焼性 (固体、気体) : 非該当  
 密度 : 0.81 g/ml  
 溶解度 : 不溶性。  
 爆発限界 下限 (LEL) : 0.6 vol % 炭化水素、C10-C13、n-アルカン、イソアルカン、環状結合、< 2 % 芳香族化合物  
 爆発限界 上限 (UEL) : 6.1 vol % 炭化水素、C10-C13、n-アルカン、イソアルカン、環状結合、< 2 % 芳香族化合物  
 動粘性率 : < 7 mm<sup>2</sup>/s

## 10. 安定性及び反応性

- 反応性 : 引火性液体及び蒸気。  
 化学的安定性 : 通常の条件下では安定。  
 危険有害反応可能性 : 通常の使用条件下において、危険な反応は検出されていない。

- 避けるべき条件 : 高温面との接触を避ける。熱。炎や火花の禁止発火源をすべて断つ。
- 混触危険物質 : 強力な酸化剤。
- 危険有害な分解生成物 : 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

## 11. 有害性情報

- 急性毒性（経口） : 区分外。
- 急性毒性（経皮） : 区分外。
- 急性毒性（吸入） : 区分外。

ホスホロジチオ酸、0,0-ビス(2-エチルヘキル、イソブチル、イソプロピル)エステル、亜鉛塩 (85940-28-9)	
LD50 経口 ラット	3000 mg/kg

- 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分外。
- 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 強い眼刺激。
- 呼吸器感作性 : 区分外。
- 皮膚感作性 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
- 生殖細胞変異原性 : 区分外。
- 発がん性 : 区分外。
- 生殖毒性 : 区分外。
- 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分外。
- 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分外。
- 吸引性呼吸器有害性 : 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

## 12. 環境影響情報

- 生態系 - 全般 : 長期継続的影響によって水生生物に有害。
- 水生環境(急性) : 区分外。
- 水生環境(慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に有害。

炭化水素、C10-C13、n-アルカン、イソアルカン、環状結合、< 2 %芳香族化合物 (64742-48-9)	
LC50 魚 1	2200 mg/l (暴露期間: 96 時間 - 種: ファットヘッドミノー [静止状態])

MotorClean	
残留性・分解性	追加情報なし

MotorClean	
生体蓄積性	追加情報なし

MotorClean	
土壌中の移動性	追加情報なし

- オゾン層への有害性 : 区分外。
- その他の有害な影響 : 追加情報なし

## 13. 廃棄上の注意

- 廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を破棄する。
- 汚染容器及び包装 : 容器内の残余物は除去する。  
廃棄または焼却処分よりリサイクルが好まれる。  
洗浄不可能な包装は内容物と同様に廃棄すること。

### 追加情報

- 推奨下水処理 : 推奨されない。
- 追加情報 : 引火性蒸気が容器内に蓄積することがある。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

陸上輸送 (UN RTDG)	海上輸送 (IMDG)	航空輸送 (IATA)	内陸水路輸送 (ADN)	鉄道輸送 (RID)
<b>国連番号</b>				
非該当	非該当	非該当	非該当	非該当
<b>国連正式品名</b>				
非該当	非該当	非該当	非該当	非該当
<b>輸送危険物分類</b>				
非該当	非該当	非該当	非該当	非該当
非該当	非該当	非該当	非該当	非該当
<b>容器等級</b>				
非該当	非該当	非該当	非該当	非該当
<b>環境有害性</b>				
環境有害性 : いいえ	環境有害性 : いいえ 海洋汚染物質 : いいえ	環境有害性 : いいえ	環境有害性 : いいえ	環境有害性 : いいえ

海洋汚染物質 : いいえ

### 国内規制

その他の情報 : 補足情報なし。

## 15. 適用法令

- 労働安全衛生法 : 第3種有機溶剤等（施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第5号）  
危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号）  
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9）  
石油ナフサ（政令番号：330）（90%以上）
- 消防法 : 第四類引火性液体 第二石油類 危険等級 III 炭化水素系エンジンクリーナー
- 道路法 : 車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2）

## 16. その他の情報

### 改訂情報

Section	変更アイテム	変更	コメント
	優先日。	変更。	
	改訂日。	変更。	
	消防法。	変更。	

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用すべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。